

特別
企画展

立山黒部を貫く！



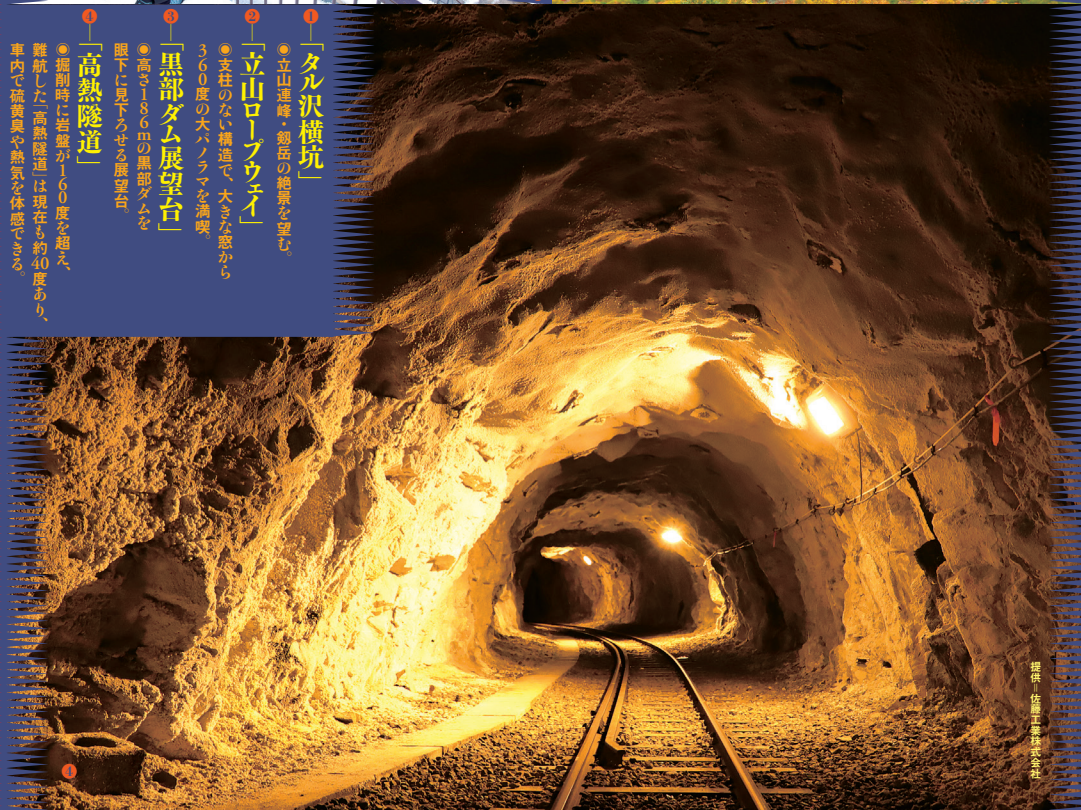
電源開発と観光……

公開 二〇二六年九月十九日(土) ↓ 十二月八日(日)



人はなぜ、立山黒部を貫いたのか……

……山岳と峡谷に刻まれた挑戦の軌跡



①「タル沢横坑」

●立山連峰・穂高の絶景を望む。

②「立山ロープウェイ」

●支柱のない構造で、大きな窓から360度の大パノラマを満喫。

③「黒部ダム展望台」

●高さ186mの黒部ダムを眼下に見下ろせる展望台。

④「高熱隧道」

●掘削時に岩盤が160度を超え、難航した「高熱隧道」は現在も約40度あり、車内で硫黄臭や熱気を体感できる。

富山県「立山博物館」

開館 35 周年



【開館時間】午前九時三〇分～午後五時まで（入館は午後四時三〇分まで）

【観覧料】「一般」二五〇円「大学生」一二〇円 高校生以下、各種福祉関係の手帳をお持ちの方との付添人（二人の観覧料は無料です。）、学校教員、社会教育で利用する児童生徒の引率者の観覧料は申請により無料となります。



立山黒部を貫く！－電源開発と観光－

〓 秘境は、いかにして観光地となったのか 〓

立山黒部アルペンルートと黒部峡谷鉄道は、富山県が誇る日本を代表する観光地です。そして、立山連峰の険しい山々や、黒部峡谷の深い谷を貫いて道をつくり、開発した人々の挑戦の物語がつまっています。

本展では、立山黒部アルペンルート全線開通と黒部峡谷鉄道株式会社設立の55周年を記念し、立山黒部がどのようにし

て多くの人々を魅了する観光地となったのかを映像等を使ってわかりやすく紹介します。さらに、黒部宇奈月キャニオンルートに注目し、立山黒部の新たな楽しみ方について考えます。

雄大な自然と、それを切り拓いてきた人々の努力によって生まれた「観光地・立山黒部」の魅力を再発見していただけます。

黒部を拓く！ 立山を貫く！



昭和4 (1929) 年に全通した日電歩道
提供：関西電力株式会社

使命

苦闘

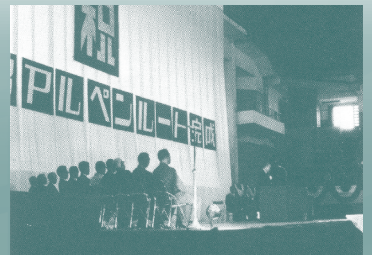


昭和44 (1969) 年12月15日
立山トンネル貫通
提供：立山黒部観光株式会社

達成



完成した黒部ダム
提供：関西電力株式会社



昭和46 (1971) 年6月1日 全線開通記念式典
提供：立山黒部観光株式会社



■関連イベント

①担当者による展示解説会

9月19日(土)、9月23日(水・祝)、10月3日(土)、
11月3日(火・祝)
いずれも14:00～15:00

②ミニ鉄道走行会「ドクターイエローに乗ろう！」

ミニ列車が走ります。乗ることもできます。
10月10日(土) 10:00～15:00 (12:00より30分間は休憩)
場所：芦峯公民館前 駐車場
※申込不要、後期企画展をご覧になった方が対象

③Nゲージ走行観覧会

Nゲージ鉄道模型が走る様子をご覧ください。
10月24日(土)、10月25日(日) 10:00～15:00
場所：教養坊
※申込不要、参加無料

会 場：富山県[立山博物館] 展示館1階 企画展示室
休館日：月曜日(9月21日、10月12日、11月2日は開館)、
10月13日(火)、11月4日(水)

主催：富山県[立山博物館]
共催：北日本新聞社
後援：北日本放送、チューリップテレビ、富山テレビ放送、NHK 富山放送局、
Net3、立山黒部観光株式会社、黒部峡谷鉄道株式会社
協力：関西電力株式会社



富山県[立山博物館]
TATEYAMA MUSEUM of TOYAMA

〒930-1406 富山県中新川郡立山町芦峯寺93-1
TEL=[076]481-1216 FAX=[076]481-1144



tatehaku.jp

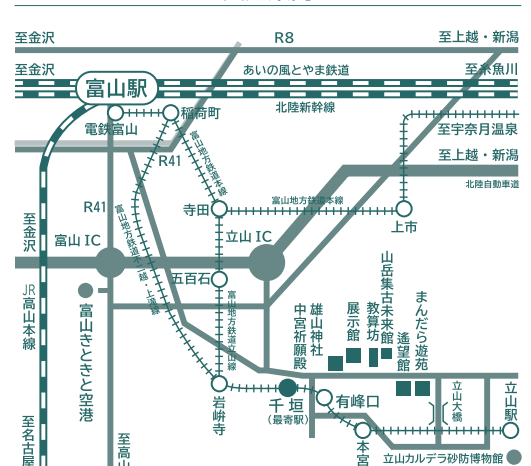


でも情報発信中！



【電車の場合】
富山地方鉄道立山線「千垣駅」
下車後、徒歩約30分(約2km)
※月～土(祝日など除く)は町営バス運行
【車の場合】
JR富山駅から約45分
富山地方鉄道「立山駅」から約15分
北陸自動車道「富山IC」から約35分
同 「立山IC」から約30分

交通案内



Check! /
9月27日まで開催中

布橋灌頂会開催記念展 布橋灌頂会の魅力がわかる！

●場所：展示館2階常設展示室内 ●観覧料：常設展示観覧料